サポート情報記事

Discussions を Microsoft Teams に追加する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

手順 **1.** アプリを **Teams** で利用可能にする 4

手順 **2.** チャネルにタブを追加する 5

手順 **3.** ボードを選ぶ 6

手順 **4.** タブを構成する 7

Teams で異なる点 7

タブが空の場合やメッセージが表示される場合 8

用語 10

はじめに

Microsoft Teams を拠点とするチームは、会話のすぐそばにフォーラムを置きたいと考えます。Discussions は Teams アプリケーションとして提供され、**チャネルのタブ**としてピン留めできます。**SharePoint** ページと同じビュー・カテゴリ・検索付きのトピック一覧、同じスレッド形式の返信、ベスト　アンサー、サブスクリプション、モデレーションが利用でき、内容はチーム自身の SharePoint サイトのリストに保存されます。

この記事では、Teams へのアプリの公開、タブの追加と構成、および SharePoint ページと異なる点を説明します。パッケージがテナントのアプリ　カタログに既に展開されていることを前提としています (KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法 を参照)。

メモ

Teams パッケージには、チャネル　タブおよび個人用アプリ　エントリとしての **Discussions** Web パーツが含まれています。付属の Teams マニフェストには **Discussions Activity** は登録されていません。テナントごとの 1 つのライセンスで SharePoint ページと Teams タブの両方がカバーされ、**Microsoft Graph** API のアクセス許可は要求されません。

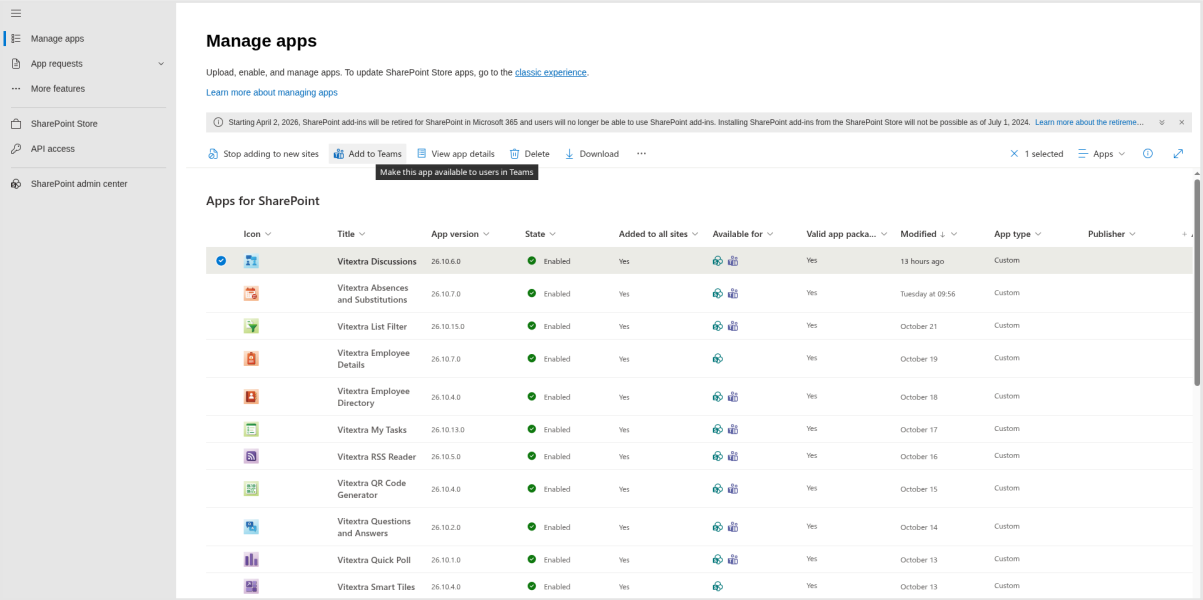
前提条件

- アプリを Teams に公開するには、SharePoint アプリ カタログを管理できる必要があります。通常は **SharePoint 管理者**ロールです。
- チャネル　タブを追加するには、チームのメンバーである必要があります。チームの所有者は、タブを追加できるユーザーを制限できます。
- チームの**最初のボード**を作成するには、チームの SharePoint サイトで**リストの管理** (Manage Lists) アクセス許可が必要です。チームの所有者はこのアクセス許可を持っています。リストが存在すれば、どのメンバーでもタブを追加して既存のボードを選択できます。

手順 1. アプリを Teams で利用可能にする

1 Microsoft 365 管理センターを開き、**開く**をクリックします。
2 **アプリの管理**ページで **Vitextra Discussions** パッケージを選択し、**Teams に追加**

をクリックします (クラシックの **SharePoint 用アプリ** ライブラリでは、同じコマンドはリボンの **ファイル** タブにある **Teams に同期**です)。



Teams へのアプリの公開

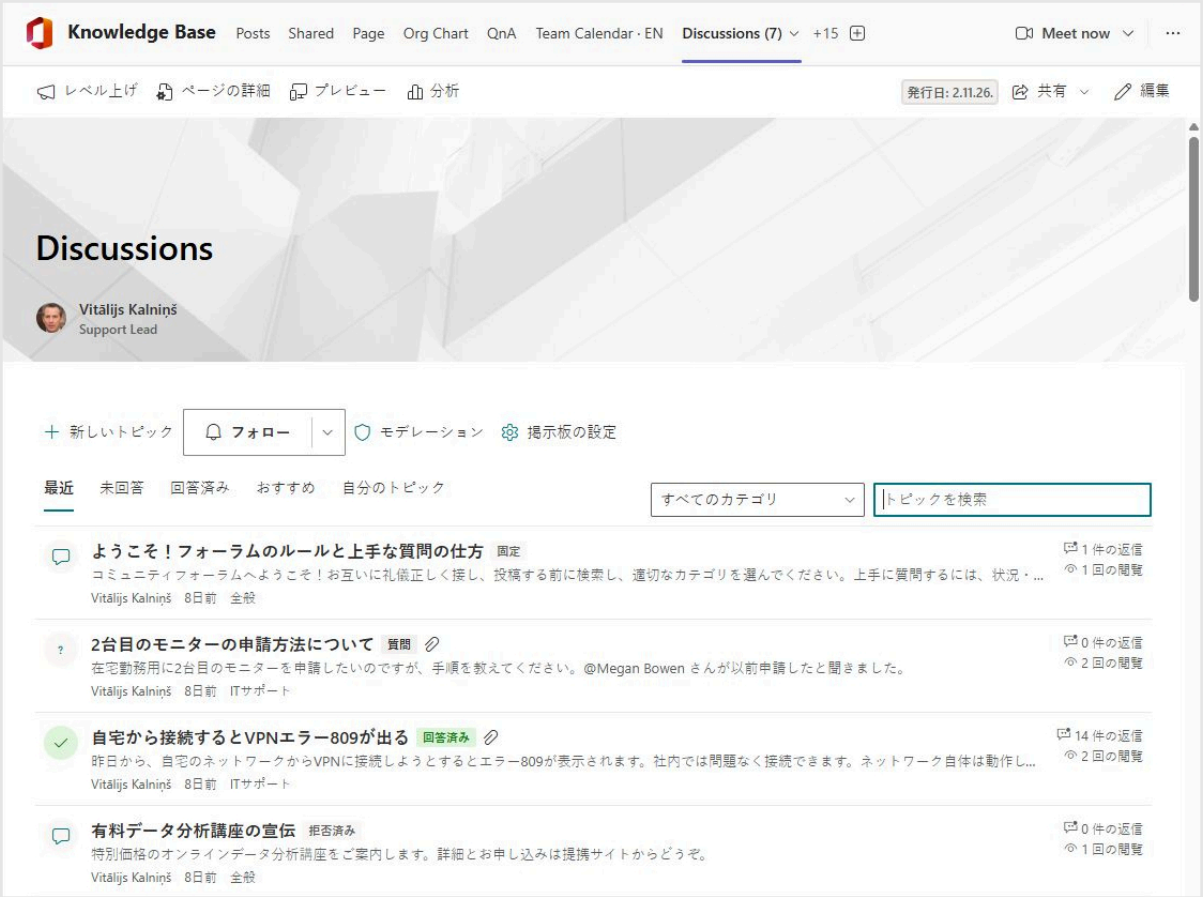
アプリは、組織の **Teams アプリ** ストアに **Discussions** (*Vitextra Discussions*) という名前で公開されます。アプリは SharePoint パッケージにリンクされたままになり、アプリ カタログにインストールされた新しいバージョンは Teams でも使用されます (KB10050. SharePoint Online で Vitextra SPFx ソリューションを更新する方法 を参照)。

メモ

代わりに、Teams 管理者が Teams 管理センターの **Teams アプリ → アプリの管理 → 新しいアプリをアップロード**で Teams アプリ パッケージを手動でアップロードすることもできます。パッケージは製品に含まれる `TeamsSPFxApp.zip` ファイルです。**Teams に追加**の方が簡単な方法です。

手順 2. チャネルにタブを追加する

1 チームとチャネルを開き、タブ バーの **+** をクリックします。
2 アプリの一覧で **Discussions** を探し (検索ボックスを使用)、選択します。
3 **追加** (または**保存**) をクリックします。タブは Web パーツの **未設定** 画面とそのプロパティ ウィンドウとともに開きます。
4 ボードを作成または選択すると (次の手順を参照)、タブにボードが表示されます。



Teams チャネルのタブ内の Web パーツ

タブの名前を (タブのメニューの**名前の変更**で) *ヘルプ デスク* や *Q&A* などに変更してください。既定の名前はアプリ名です。

手順 3. ボードを選ぶ

Teams タブは**チームの SharePoint サイト**のコンテキストで動作し、**未設定** 画面はそのサイトのリストを扱います。

- **新しい掲示板** - **掲示板名** を入力し、**モード** を選び、**カテゴリ (1行に1つ)** を列挙し、**新しい投稿の承認が必要** を設定して、**掲示板を作成** をクリックします。チームにまだ Discussions のリストがない場合は、この時点でチーム サイトに作成され **(ディスカッション掲示板**、**ディスカッショントピック**、**ディスカッション投稿**、**ディスカッション購読**、および **ディスカッションアセット** ライブラリ)、チーム サイトの**サイト コンテンツ**に表示されます。各オプションについては、KB10392. 最初のボードの作成: モード、カテゴリ、承認 で説明しています。
- **既存の掲示板** - チーム サイトに既に存在するボード (たとえば同じサイトのページ用に作成されたボード) を選択し、**掲示板を使用** をクリックします。タブとページには同じトピックが表示されます。

別のサイトのボード (たとえばイントラネット上の全社ヘルプ デスク) をタブで選択することはできません。Web パーツは、それが動作しているサイトのリストを扱うためです。公開済みページを **SharePoint** タブ アプリでピン留めし、メンバーが元のサイトにアクセスできるようにしてください。**Web サイト** タブは、新しい Teams クライアント内にページを埋め込まず、ブラウザーで開きます。 Microsoft.

手順 4. タブを構成する

ボードを選択した後は、必要なときにプロパティ ウィンドウを開けます。タブのメニューで**設定**を選択してください。オプションは SharePoint ページと同じで、**掲示板** ドロップダウンと **リストを開く** リンク、**外観** の下の **既定の表示、ページあたりのトピック数、カテゴリを表示、返信数と閲覧数を表示、検索ボックスを表示** の各設定があり、KB10391. Discussions Web パーツの追加と構成方法 で説明しています。タブは、同じボードを表示するページ上の Web パーツとは独立して、独自の設定を保持します。

Teams で異なる点

- **アクセス許可はチームに由来します。** チームの所有者は SharePoint サイトの所有者であり、したがって**モデレーター**です。承認なしで投稿でき、**モデレーション** ボタンが表示され、トピックのピン留め、おすすめ設定、ロックができます。標準の*編集*権限レベルには**リストの管理**が含まれるため、その権限を持つメンバーもモデレートできます。トピックの作成、返信、いいね、フォロー、報告もできます。チームのゲストは自身のゲスト アクセス許可で参加します。詳細は KB10408. Discussions のアクセス許可: 閲覧、投稿、モデレートできるのは誰か を参照してください。
- **ディープ リンク。** SharePoint ページでは、トピックを開くと Web パーツがページのアドレスに `?topic=ID` を追加します。Teams タブ内ではページのアドレスが見えないため、同僚とトピックを共有するには、同じボードを表示する SharePoint ページを使うか、タブのメニューの**タブへのリンクをコピー**でタブ自体を指すリンクを使います。**Discussions Activity** Web パーツのリンクは、構成された **掲示板ページの URL** をブラウザーで開きます。KB10407. Discussions でトピックへのリンクを共有する (ディープ リンク) を参照してください。
- **従来のボードのインポート。** モデレーター向けの **クラシック掲示板をインポート** コマンドは編集モードでのみ表示されます。SharePoint ページではページの編集モードで、タブではタブの**設定**が開いている間に利用できます。
- **個人用アプリ。** Teams パッケージは Discussions を個人用アプリとしても登録し

ます。個人用タブにはボード選択の手順がないため、そこから Web パーツをチームのボードに向けることはできません。ボードにはチャネル タブを使用してください。

- **添付ファイルと画像**は、種類に応じてブラウザーまたは Teams のファイルビューアーで開きます。インライン画像はチーム サイトの **ディスカッションアセット** ライブラリに保存されます。
- **テーマ。** タブは Teams クライアントのライト テーマとダーク テーマに従い、レイアウトは Teams ウィンドウの幅と Teams モバイル アプリに適応します。

警告

チャネルからタブを削除しても何も削除されません。ボード、トピック、返信はチーム サイトのリストに残り、新しいタブやページで再び表示できます。チームを削除すると、その SharePoint サイトが削除され、ボードも一緒に削除されます。有効期限ポリシーのあるチームではこの点に注意してください。

タブが空の場合やメッセージが表示される場合

表示内容	対処
未設定 / Web パーツはまだ設定が必要です	タブのメニューで**設定**を開き、ボードを作成または選択します (手順 3)。
このサイトでリストを作成する権限がありません	チーム サイトにまだ Discussions のリストがなく、「リストの管理」権限がありません。所有者に最初のボードの作成を依頼してください。
選択した掲示板が見つかりません	ボードのアイテムが **ディスカッション掲示板** リストから削除されたか、タブが別のチームにコピーされました。**設定**を開いて別のボードを選択してください。
まだトピックがありません。最初のトピックを作成してください。	ボードが空であるか、選択したビューと承認フィルターに表示可能なトピックがありません。自分の承認待ちトピックは表示されます。

表示内容	対処
新しいトピック ボタンが表示されない	ユーザーがチーム サイトで*アイテムの追加*アクセス許可を持っていません (閲覧者または読み取り専用のゲスト)。
+ ダイアログにアプリが表示されない	パッケージが Teams に追加されていない (手順 1) か、Teams 管理者がカスタム アプリをブロックしています。Teams 管理センターの **Teams アプリ → アプリの管理**を確認してください。
ライセンス メッセージ	試用期間が終了したか、テナントにライセンスが割り当てられていません。KB10365. Vitextra Web パーツに「無料試用版のご利用ありがとうございます」と表示されるのはなぜですか? ライセンス メッセージと対処方法 を参照してください。

その他のケースは KB10429. Discussions のトラブルシューティング: 未設定、掲示板が見つからない、アクセス許可エラー を参照してください。

用語

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Teams アプリ
Teams アプリは、タブ、ボット、メッセージ拡張機能、会議拡張機能などの機能で Microsoft Teams を拡張するアプリケーションです。Teams アプリは、Teams アプリ ストア、AppSource、または組織のカタログを通じて、アプリ パッケージとして配布されます。

サイト
SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。